

9月21日（土）茂山千五郎・茂山千之丞と 山本太郎によるトークセッション開催のご案内



絵・山本太郎《狂言花子用素襖三世茂山千之丞 ver.》2018年 茂山千五郎家蔵

富山県美術館では、現在好評開催中の企画展「日本の美 美術×デザイン」一琳派、浮世絵版画から現代へのイベントとして、トークセッションを行います。

本展出品作家、山本太郎氏と同氏に ^{すおう}素襖（装束）の絵を依頼した狂言師・^{しげやませんのじょう}茂山千之丞氏、そして ^{しげやませんごろう}茂山千五郎氏による鼎談です。伝統と現代を日本画、狂言というそれぞれの立場からお話しいただきます。山本氏が実際に手掛けられた装束は、本展に展示中です。

皆様にはご取材および広く告知へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

日時：2019年9月21日（土） 14:00～（約90分） ※13:30 開場

場所：富山県美術館 3階ホール

定員：100名 ※当日先着順、「日本の美」展観覧券が必要

お問い合わせ

富山県美術館 〒930 - 0806 富山県富山市木場町 3 - 20

tel : 076-431-2711 fax : 076-431-2712

メール : abijutsukan@pref.toyama.lg.jp

担当：広報に関して：川浦（広報）、展覧会に関して：八木、麻生（学芸課）



【出演者プロフィール】



しげやませんごろう
茂山千五郎／1972年京都生まれ。狂言師。

2016年に十四世茂山千五郎を襲名。現当主として「お豆腐狂言」の名のもと狂言の普及に尽力。



しげやませんしのじょう
茂山千之丞／1983年京都生まれ。狂言師。

2018年に三世茂山千之丞を襲名。古典的な演目以外にも、バイリンガル狂言、現代劇などにも出演。



山本太郎／1974年熊本生まれ。

2000年京都造形芸術大学卒業、現在同大学准教授。大学在学中の1999年「ニッポン画」を提唱。古典技法でポップなモチーフを描く画家。

【《狂言花子用 すおう 素襖 三世茂山千之丞 ver.》について】

茂山童司氏が三世茂山千之丞を襲名披露する際に演じた「花子」のために作られた素襖。通常は、演目内容から男女の恋愛模様を想起させるため、藍染めの装束に白く色紙や短冊の形が抜けた意匠によるが、茂山家ではいつしか白い部分に絵師が絵を描くようになった。

本作品では、古典絵画を題材に、ファーストフードのロゴやゲームキャラクターなど、現代を生きる我々の生活に依拠する事物や風俗を混在させ、ユーモアやパロディを内包し、問題意識を抱えた表現として注目を集める山本太郎氏の作風が、狂言の装束という伝統とコラボレーションし、存分に発揮されている。

お問い合わせ

富山県美術館 〒930 - 0806 富山県富山市木場町3 - 20

tel : 076-431-2711 fax : 076-431-2712

メール : abijutsukan@pref.toyama.lg.jp

担当 : 広報に関して : 川浦 (広報)、展覧会に関して : 八木、麻生 (学芸課)

